

・ リーディングフォーラムの感想

五神研究室 修士2年 森田 悠介

私はリーディングフォーラムにおいて開かれた学生フォーラムに参加しました。この学生フォーラムは70名前後の各リーディング大学院所属の学生が10グループに分かれて、ディベートを行い最後にプレゼンでディベートの内容を発表するというものでした。

テーマとしては、博士課程を経て社会に出て行く人材の理想と、その役割に向けて学生としてやるべきこと、リーディング大学院に求める事、そしてそれらがどのように社会の幸福へつながるかなどを議論するというものでした。

どこのグループにも共通した事ではありましたが、専門知識に偏ってしまいがちな博士課程の人材は異分野との連携をより深めることが重要であるということで話はまとまりました。その中でもリーディングというくくりの中で他分野の博士との連携に努める事で、社会の中での複合的な問題に取り組むべきというのが皆の意見でした。

これは光という共通の武器で各分野のトップとの連携を強めようとするALPSの趣旨に通ずる物があると思います。

私個人としては、ディベートの内容をプレゼンする立場に立つことになったこともあり、様々な背景の人たちと話し合い、合意形成を行うことを行うことがとても勉強になったという感想を持ちました。